

第2回 EBPM推進委員会（令和5年9月29日）
議事要旨

【開催日時】

令和5年9月29日（金）14時00分～14時50分

【場 所】

オンライン開催

【出席者】

（構成員）藤井 健志 内閣官房副長官補（内政担当）を始めとするEBPM推進委員会構成員

（関係者）各府省会計課長等

【議 事】

1. 各府省における取組紹介
2. 会長発言

【議事の経過】

1. 各府省における取組紹介

法務省、外務省、国土交通省及び原子力規制委員会から、個別事業の改善例、行政事業レビュー推進チーム等の取組例等について、紹介が行われた。（資料1～4）

行政改革推進本部事務局から、今後の取組について説明が行われた。（資料5）

2. 会長発言

会長である藤井内閣官房副長官補から発言があった。要旨は以下のとおり。

- 前回の委員会で、私から各府省の政策立案総括審議官等に申し上げたように、レビューシートにおいて「政策効果の発現経路と目標をロジカルに説明し、事後的にデータに基づいて見直す」というごく当たり前のことを着実に行うことを徹底するという方針は変わらないのでよろしく願います。
- 1点目。（令和5年9月22日の記者会見で）河野大臣も発言しているように、5,000事業全体に基礎的なEBPMを導入する取組をしっかりと進めていただきたい。

- レビューシートを作りやすいものもあれば、作りにくいものもあると思うが、本日紹介いただいた原子力規制委員会の取組は、作りにくいものに対して、よく研究し、アプローチしていたと思う。
- 様々な事業があるので、それぞれ工夫が必要だと思うが、ロジックや指標に柔軟性を持たせながら、5,000事業についてしっかりとレビューシートをつくっていただきたい。
- 国土交通省から、EBPM及びレビューシートの作成をただの作業とせず、通常の業務へと浸透させていくのが課題であるという話があったが、そのとおりだと思う。レビューシートを予算編成に使うことにより、普段からEBPMを意識した政策立案・執行をすることにつながると思うので、その方向で取組を行っていただきたい。

- 2点目。今回、重点フォローアップとして行政改革推進本部事務局と各府省とが協働して見直しを行ってきた中で、原課担当者任せにせず、行政改革推進本部事務局・総務省行政評価局による伴走や、各省の管理職、行政事業レビュー推進チームなどが重層的に確認し、第三者も一緒になって検討することが、EBPMについての気付きも多く、理解のために有効であることが分かった。これを踏まえ、来年度も行革事務局等から支援をさせるので、各府省のレビュー推進チームは協力して、府省内のEBPMの質の向上や定着のためによく活用してほしい。

以上、2点よろしく願います。

以上